

環境特集号

—ごみ減量・リサイクルの輪を広げよう！！—

第 32 号(平成 31 年 1 月発行)
豊能町建設環境部環境課
電 話:072-736-1190(直通)
F A X:072-738-3407
E-Mail: kankyou@town.toyono.osaka.jp

ごみの中から宝物！？

～ ごみ減量化・資源化 PR 事業 ～

本町では、9月から11月の3か月間「ごみ減量化・資源化 PR 事業」として、ごみ減量化推進員の皆さまとともに啓発活動を行いました。

町内の各店舗前や能勢電鉄の各駅前、「とよのまつり」の会場において、啓発ティッシュの配布を行い、ごみの減量化・資源化を呼びかけました。

また、各店舗前では食用廃油の臨時回収拠点を設け、45リットルの廃油を回収できました。

上記の活動には、町内の各店舗や能勢電鉄の皆さまのご理解をいただきながら実施できましたことを、厚く御礼申し上げます。

今後も、さまざまな啓発活動にご協力をお願いいたします。



第8回とよのまつい

環境課も出展しました！！

とよのまつり会場において、環境課ではごみの分別に関する〇×クイズを行い、多くの方に挑戦していただきました。実際に出題されたのは、次のようなクイズです。

- | | |
|--|-----|
| 問題 1. 生ごみは、多少水分が残っていてもそのまま捨てている。 | ○/× |
| 問題 2. お菓子やティッシュの空箱は、可燃ごみの日に捨てている。 | ○/× |
| 問題 3. 飲み終わった後の牛乳パックは、そのまま可燃ごみの日に捨てている。 | ○/× |
| 問題 4. 古着やタオルは、可燃ごみの日に捨てている。 | ○/× |
| 問題 5. 飲んだ後のペットボトルは、そのまま可燃ごみの日に捨てている。 | ○/× |

みなさんは、どうされていますか？
正解は、すべて「×」です。

減量と資源化のためには…

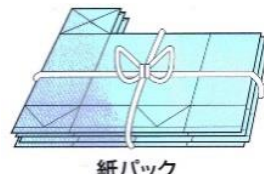
問題 1 の答え ×

家庭から出る生ごみには、多くの水分が含まれています。一人ひとりが生ごみの水切りを行うことにより、ごみの減量が可能となります。



問題 2、3 の答え ×

お菓子やティッシュの空箱、牛乳パックは「紙類等」の収集日にお出してください。（牛乳パックは軽く洗って）
紙は、多くの場合再資源化することができますので分別にご協力をお願いします。



使用済小型家電は、役場本庁、吉川支所、中央公民館、西公民館で回収ボックスを設置し、常時回収しています。

今後も、回収にご協力をお願いいたします。



問題 4 の答え ×

セーター、シャツ、ズボンなどの衣類、タオル、ハンカチなどの布切れ、毛布、カーテンなどは、「古布類」として「紙類等」の収集日にお出してください。



タオル・シーツなど

問題 5 の答え ×

ペットボトルは、キャップとラベルをはずし、中を軽く洗って「ペットボトル」の収集日へ、キャップとラベルは「容器包装プラスチック類」の収集日にお出してください。



生ごみをきちんと水切りすることで、ごみの減量につながります。
また、可燃ごみに混じって一緒に捨てられていたものも、きちんと分別することにより、貴重な資源として再生・活用することができます。
環境課ではこれからも、皆さまとともにごみの減量と資源化を進められるよう、啓発を含めたさまざまな活動に取り組んでまいります。

第2次豊能町ごみ処理基本計画の検証（中間報告）

平成30年度上半期（4月～9月）の検証として下記のとおり中間報告をします。

豊能町では、平成29年度3月に策定した【第2次豊能町ごみ処理基本計画】のごみの減量と資源化について、下記の2つの目標を掲げています。

減量と資源化の目標＜2つの目標＞

平成29年度を計画の初年度とし、15年後の平成43年度を目標年度とする

1. 減量目標・・・1人1日あたりのごみ排出量（家庭+事業）を750g以下に減量する
2. 資源化目標・・・生活系ごみ（家庭系ごみと集団回収、店頭回収）の50%以上の資源化をめざす

最終年度の目標値に向けた、平成30年度の目標値は、

- ① 減量目標として1人1日あたりごみ排出量 **774g**
- ② 資源化目標として生活系ごみの資源化率 **36.8%** というものです。

平成30年度上半期のごみ量をもとに算出してみると、下記のとおりとなりました。

①減量目標

平成30年度上半期のごみ排出量	
ごみ排出量 （家庭 + 事業）	2,955 t
9月末人口	19,740 人
日 数	183 日
平成30年度目標（A）	774 g
1人1日あたり ごみ排出量（B）	818 g
（B）－（A）	44 g
目標達成結果	×

②資源化目標

平成30年度上半期の資源化率	
生活系ごみ量 （家庭+集団回収+店頭回収）	2,844 t
資源化量	878 t
平成30年度目標（A）	36.8%
資源化率（B）	30.9%
（B）－（A）	- 5.9
目標達成結果	×

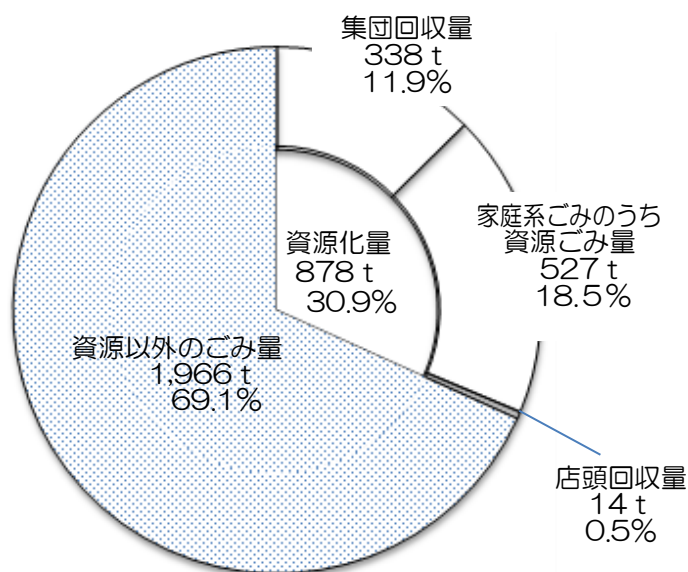
上記の①減量目標、②資源化目標の表を見てみると、目標値には届いていない状況です。

＜ 昨年度同期のごみ量及び資源化率の比較 ＞

H29.4月～9月	ごみ量	839 g
	ごみの資源化率	31.7%
H30.4月～9月	ごみ量	818 g
	ごみの資源化率	30.9%

1人1日あたりのごみ排出量は、減っているものの、ごみの資源化率については、下がっています。

可燃ごみの中に、容器包装プラスチック類・紙類など、資源となるものが多く含まれています。今一度、可燃ごみ量を減らすために、さらなる分別にご協力いただきますようお願いいたします。



生活系ごみの内訳